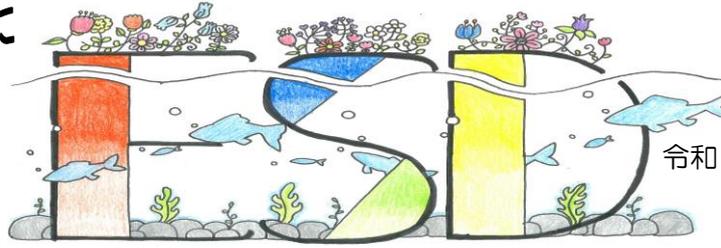


笑顔あふれる 世界のために
できることから始めよう!



令和3年 5月31日発行
第2号

南稜中学校は豊橋市教育委員会より「ESD～持続可能な開発のための教育～」についての研究を委嘱され、令和元年度から学校生活のさまざまな場面でESDの視点を取り入れた活動に取り組んでいます。

ESDとは…?

Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)の頭文字です。現代社会に生きる私たちは、環境や人権、災害や戦争など、さまざまな問題を抱えています。持続可能な開発とは、環境の保全と経済の発展をバランスよく進めていくことです。そんな社会の担い手をつくるのがESD。生徒の視点で考えると、現在の生活のことも考えながら、自分たちの子孫も現在と同じように豊かな生活(エネルギー資源に満ちた世界・戦争のない平和な世界など)が送れるような生活をしていくこと。南稜中学校では、**大崎小学校と連携し、総合的な学習の時間をはじめ、さまざまな教育活動にESDの視点を取り入れています。**

南稜中学校の梅田川水質保全活動が愛知県に認められました

昨年度は、学年ごとに梅田川上流から下流までの水質調査を行い、SDGsの視点を取り入れながら1年生は壁新聞に、2年生は大きなマップに、3年生はレポートにまとめました。また、調査を通して学んだ内容を他学年や大崎小学校の児童に発表することで、地域への効果の波及が期待できるという点が評価され「水質パトロール隊事業 特別賞(P.R賞)」を受賞しました。

南稜中学校では、今後も梅田川の水質保全活動を続けていきます。現在、3年生が水質改善プロジェクトを立ち上げ、「鉄炭団子」の作成、梅田川クリーン作戦の計画を進めています。また、大崎小学校とも連携し、授業でのオンライン交流や一緒にごみ拾いをする機会の設定を検討しています。今後の生徒たちの活躍にご期待ください。



ESD委員会の発足!

持続可能な社会の創り手を育成するため、そして南稜中学校のESD活動を促進するために、生徒会執行部の提案で新しく「ESD委員会」が発足しました。さっそく6月には次の活動に取り組みます。

活動名(日程)	目的	関係するSDGs
緑の羽根募金 6/7(月)～6/9(水)	学校に苗木を植えたり、公共施設の緑化事業に使用したりするため。	⑮陸の豊かさを守ろう
ユニセフ募金 6/7(月)～6/9(水)	病気や栄養不良で苦しむ世界中の子どもたちを救うため。すべての子どもが学校に通い学べるようにするため。	②飢餓をゼロに ④質の高い教育をみんなに ⑥安全な水とトイレを世界中に
エコキャップ回収 キャンペーン 6/7(月)～6/11(金)	ポリオで苦しむ子どもたちのため。 CO ₂ の排出量を削減するため。	③すべての人に健康と福祉を ⑬気候変動に具体的な対策を

なお、南稜中学校西門では常時アルミ缶の回収を行っています。ご協力よろしく申し上げます。